

# キャンパス点描

## 宮城県気仙沼市教育委員会との相互協力に関する 協定締結記念特別講演会を開催しました

このたびお茶の水女子大学は、宮城県気仙沼市教育委員会と震災復興に向けた相互協力に関する包括連携協定を締結し、本学の前身である東京女子師範学校時代から培ってきた幼児教育や国際的人材育成、そして気仙沼市が先進的に取り組んできた防災教育やESD(持続発展教育)などを主軸として、気仙沼市の教育の復興と発展のため相互に協力し合うことといたしました。

協定締結式は2012年11月16日(金)に本学で行われ、羽入佐和子学長と気仙沼市教委の白幡勝美教育長が協定書に署名、取り交わしの後、白幡教育長と及川幸彦市教委副参事による記念講演が行われました。

この講演で白幡教育長は本学に対し「幼児教育、理科教育、国際的人材育成への支援を期待している。具体的には専門家の派遣、教員の相互交流などを考えており、震災で大きな被害を受けた東北か

ら新たな教育モデルの構築を目指したい。」と述べられ、及川副参事からは、「東日本大震災からの教育復興の歩みと未来に向けた教育の展望」についてご講演いただきました。

講演終了後、羽入学長から「1日も早い復興のために、そして未来を描く新たな教育環境の構築のために、共に取り組み、両機関がさらに発展することを心から願っております。」と述べられ、また、本学の東日本大震災被災地支援プロジェクトチームリーダーの耳塚寛明理事・副学長からは「復興に向け、大学でなければできないことを息長く続けたい。ESDなど気仙沼市の教育が持つ強みと震災の経験を学び、新たな教育モデルを全国に発信することもお手伝いしたい。」とコメントされました。

本学はこの協定を通じて、防災教育やESD、災害への備えなどで気仙沼のノウハウを学ぶことを期待しているところです。



## 公式facebookが一周年を迎えました!

2013年1月17日(木)に、本学の公式facebookが一周年を迎えました!

facebookとは、友人や同僚とインターネット上でつながり、文章や写真の投稿を通して気軽に交流することができる世界最大のサービスです。

お茶大では在学生や卒業生の交流の場として活用しています。本学のfacebookページは、大学ホームページの更新情報やイベント情報の告知に加えて、facebook独自の連載記事を持っていることが特徴です。

連載記事の一つである「お茶大豆知識」では、お茶大にまつわる雑学をご紹介します。例えば、昨年11月29日の創立記念日には、本学の校章の由来となった植物「チャノキ」について取り上げました。また現在は、2013年のNHK大河ドラマ「八重の桜」との関連について興味深い特集を組んでいます。

また、広報インターンシップ2期生が考案した連載「お茶っ娘Activity」では、学生が記事を書いて、サークル活動の紹介やキャン



パス内での活躍を広くお知らせしています。

開設から10ヶ月が経った2012年10月18日(木)には、お茶大のfacebook記事を定期的に読み、記事に共感したことを伝える「いいね!」ボタンを押した「ファン」が、1000人を越えました。お茶大生、卒業生、教職員へ浸透してきたことが伺えます。

facebookのアカウントを持っていない方も、お茶大のページを閲覧でき

ます。まだ見たことのない方、興味をお持ちの方は、一度チェックしてみてください。

facebookを通してお茶大生、卒業生、教職員、一般の方々の交流がより活発になりますよう今後も更新を続けていきますので、ぜひご覧ください!



<http://www.facebook.com/ochadai>

## JICA青年研修 ..... 「アフガニスタン初中等理科教育コース」を実施しました

お茶の水女子大学は、独立行政法人国際協力機構（JICA）の委託を受け2012年10月2日（火）～16日（火）に青年研修「アフガニスタン初中等理科教育コース」を実施しました。

2002年度から本学では、JICAの委託を受け、JICA研修事業を通して、アフガニスタンの教育再建に向けて支援を行ってきました。アフガニスタンへの教育支援は、今年度で10回目となり、今回で累計158名の研修生を送りだすことができました。本年度は、サイエンス&エデュケーションセンターとグローバル協力センターが連携し、教育局職員や小中学校の教員など、アフガニスタン各地から20名の理科教育関係者を迎え、教育行政の理解、指導技術向上の双方の面にアプローチした新たなプログラムを開発、実施いたしました。

研修は、羽入佐和子学長の挨拶から開講しました。その後、JICA東京国際センター長花里信彦氏から来賓挨拶がありました。本研修プログラムは、文部科学省への表敬訪問からスタートし、2日目以降は日本で学んだ研修の成果を母国で生かしていただくため、アフガニスタンでも入手可能な身近な教材を使った物理・化学・生物・地学分野の講義と実習が行われました。そして、東京都北区滝野川小学校を訪問、小学校3年生と4年生の理科授業を視察し、その後、東京都北区の教育施設である教育未来館の訪問に続いて、地域の教育行政について理解を深めるため、北区教育長との懇談が行われました。

また、鳴門教育大学にもプログラムの一部、教師指

導書を現地で浸透させるためのワークショップを担当していただきました。研修後半では、千葉県館山市にある本学附属の湾岸生物教育研究センターで、アフガニスタンにはない「海」を体験していただき、自然への感性を高めながら、その指導技術の実際についてフィールドで学んでいただきました。

最終日には、JICA東京国際センターにおいて、評価会が行われ、研修生の終了時のアンケートでは、すべての研修項目において目標が達成され、日本の文化と教育現場に刺激を受け、満足度の高い研修であったと評価されました。研修員からは日本で得た指導技術を母国の他の教員に伝えることで、学んだことを実践し、理科教育の改善に貢献したいとの強い思いが伝えられました。



## 公式 Twitter がオープンしました! .....

Twitterとは、「つぶやき」と呼ばれる140字以内の短い文を投稿し、自分の近況や意見、感じたことを世界に向けて発信することができるミニブログサービスです。

2012年10月9日(火)に、本学の公式Twitter(ツイッター)がオープンしました。本学のTwitterでは、大学ホームページの更新情報やイベント告知情報を発信しています。それに加えて、在学生や教職員向けの学内情報も多く発信し、facebookとの差別化をはかっています。

お茶大の「つぶやき」に関心を持ち、継続して「つぶやき」を読む「フォロワー」と呼ばれる人の数は、開設初日から100人を越えるなど、大きな反響がありました。現在ではフォロワーの数が600人以上と、私達もびっくりする結果となっています。フォロワーの多くは在学生なので、生協食堂に新メニューが登場した時のお知らせ

や、定期演奏会、クリスマスコンサート等のサークル活動のお知らせなど、お茶大生にとって身近なニュースがつぶやかれた時に、特に反響が大きくなるようです。

また、一般の方が本学のTwitterを見て、本学開催のイベントに興味を持ち、参加されるなど、徐々に一般での知名度も上がってきています。

Twitterのアカウントを持ってなくても、お茶大のTwitterページは閲覧できます。まだ見たことのない方、興味をお持ちの方は、一度チェックしてみてください。

Twitter独自企画も考案中です。お見のがしなく!



Twitter

<https://twitter.com/OchadaiNews>